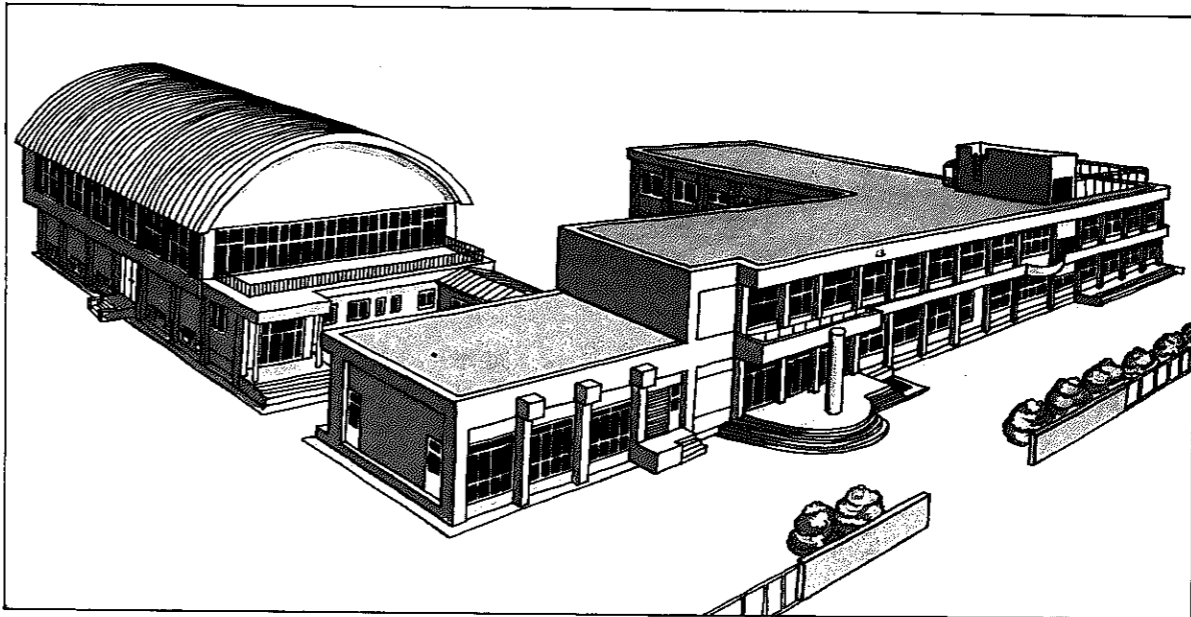


食堂もあつてぼくらの学校

最大のプレゼント

茨曾根小学校

2年がかりで建設



茨曾根小学校の移転改築工事が、総工費六億三百七十七万円をかけ、二か年継続事業でスタートしました。建設場所は現校舎より約三百メートル東側で、周辺には緑がいっぱい。敷地面積は約二万平方メートル、狭かったこれまでの校庭の約三・三倍とグリーンを広く、食堂までもあるモダンな近代施設です。

施設の近代化に力こぶ

四十八年、第一中学校の建設以来、ひと息つく間もなく、毎年教育施設の建設が進められ、すでに四十二億六千万円にもものぼる巨費が、投入されました。さらに今年から、茨曾根小と大鷲小の建設が取り組まれます。建設のつち音がこだます茨曾根小学校の建設プランを、ご紹介します。

不便な校舎あと少し

現在の校舎は、昭和十六年の全焼後に木造二階建てでつくられたものです。そして昭和二十二年、六・三制の実施で中学校の校舎が増設され、学校統合による第一中学校の誕生まで、同居生活が続きました。さらに狭く、体育館は細長く、天井の低い

立派な学校にするの

小学校生活の最後の六年生になったとき、新校舎で学べるなんてすてきです。たかさんの行事ができることが楽しみです。だから見られても、はずかしい立派な学校になるよう、



(5年生) 石田和義くん

楽しいな食堂施設

一日も早く新しい教室で、勉強がしたいですね。体育館やグラウンドで力いっぱい運動したいです。全校そろって食堂での給食が楽しみです。工事が安全に早く進むことを祈っています。



(5年生) 関根知美さん

学習のついに充実

六年生としてがんばります。



(教諭) 工藤昭規さん

現在、校舎とグラウンドが離れ大変不便です。新校舎の完成で子どもたちがより主体的にのびのびと活動し、いままでの伝統に、さらに新しい伝統を築くこととしよう。明るい図書室での読書も楽しみ。木造校舎の温かみを、ぜひ新校舎に生かしたい。

深まるふれ合いと和



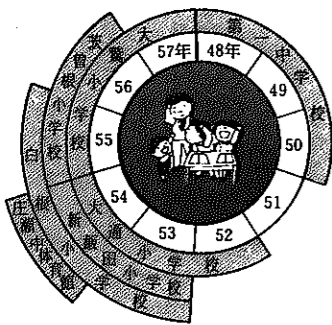
(PTA) 美濃川 昭さん

老朽校舎から近代校舎に、それだけに完成が、一日千秋の思いです。休み時間に広いグラウンドで遊ぶ子どもたちの元気な姿、食堂での先生と児童との楽しい食事、ふれ合いと和がさらに深まることとしよう。建設のつち音を耳に期待がいっぱい。

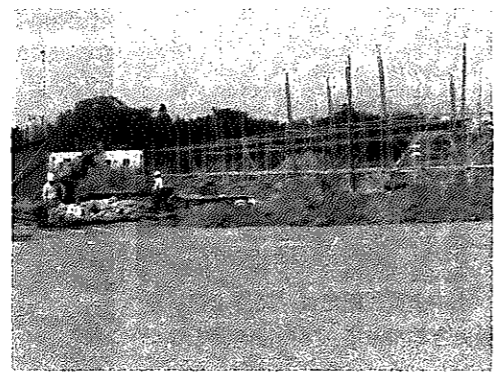
明日を担う子らへ



学校建設のあしあと



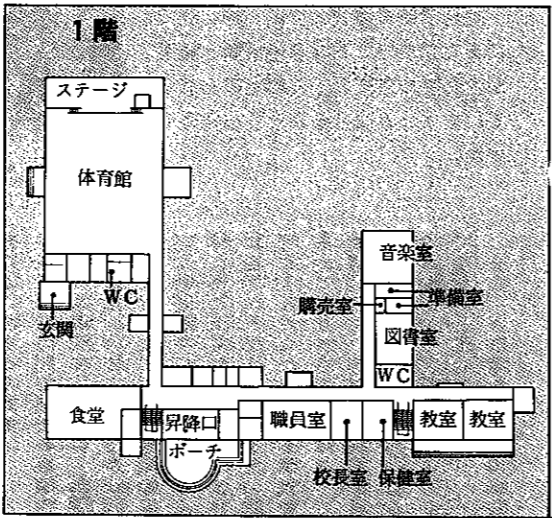
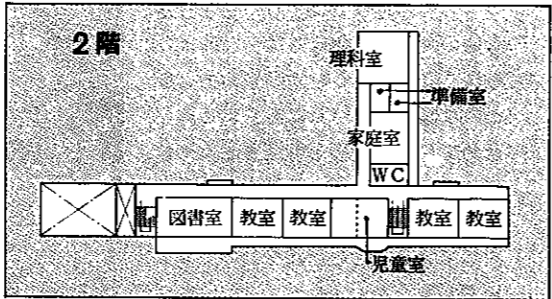
校舎の西側には旧国道が走り、国道八号線の出現までは、自動車の騒音が窓越しに。でも第一中学校の誕生で、中学生のお兄さんやお姉さんが、いなくなった寂しさの反面、スペース的には余裕も出るようになりました。おしよせる風雪に、校舎の老朽化も激しく、近代施設に衣替えることになりました。



管理校舎棟の支柱が立ち並ぶ工事現場

工夫こらすモダン校舎

新校舎は、現在の校舎より約三百メートル東側に建てられ、周辺は緑のジュリータンの田園です。建設プランによると総事業費は六億三百七十七万円、鉄筋コンクリート二階建て、延べ床面積二千八百二・八平方メートル、二か年事業で完成するはこびです。



教室などの配置ですが、自然光を十分取り入れるため、体育館を校舎裏側の北に、教室は学年分離と特別教室の使用効果を考慮し、低学年が使用する音楽室や図工室を一階に配置しました。一階は管理教室棟と特別教育

新校舎のあらまし

- ▶敷地面積 19,463平方メートル
- ▶施設【1階】
 - 校舎 1,842.08平方メートル
 - 食堂 158.10平方メートル
 - 体育館 801.60平方メートル
 - グラウンド 1周 200メートル
 - 直線コース 100メートル
- 【2階】
 - 校舎 877.74平方メートル
- ▶建設費 6億 377万円
- 校舎・食堂・体育館の工事費 4億 4,260万円
- 用地買収費 1億 677万円
- 土地造成費 3,938万円
- 設計ほか諸費 1,502万円
- 【将来計画】25メートルプール1面